

The background of the cover is a photograph of a modern architectural complex. On the left, a tall building with a curved glass facade reflects the sky. To the right, a more angular building with a grey metallic finish is visible. In the foreground, several large, leafy green trees are in full bloom, partially obscuring the buildings. A paved plaza with some low-lying shrubs and a large, smooth, light-colored stone sphere is at the bottom. The sky is a clear, bright blue with a few wispy white clouds.

2022

Tokyo International Forum
ANNUAL REPORT
東京国際フォーラム 年次報告書

社長挨拶



代表取締役社長 中嶋正宏

平素より、弊社事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京国際フォーラムは、1997年1月に旧都庁舎跡地に開館し、多目的ホールや劇場型のホール、大小様々な会議室など、エンターテインメントから国際会議まで様々な用途に応える空間を提供し、開業以来9万件を超える催事をサポートさせていただきました。この「貸館事業」と併せて、地域の賑わいを創出する数々の「主催事業」を実施し、日本の経済・文化の中心である大手町・丸の内・有楽町地域のまちづくりの一翼を担ってまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大は、人々のライフスタイルや企業活動に多大な影響を及ぼし、これにより催事を取り巻く環境も大変厳しいものとなり、弊社の経営環境も一変しました。2022年度も、エンターテインメント催事の需要はコロナ前に戻ってきているものの、企業系催事については、イベント開催の自粛や規模縮小など、いまだコロナ前の水準には戻っておらず、引き続き厳しい経営状況を余儀なくされております。

そのような厳しい状況の中でも根強い催事ニーズがあり、弊社は案内誘導・クロークなどのホールサービス、舞台・音響・照明などの舞台技術サービス、設営サービスなど、多様で質の高いサービスを提供するとともに、感染対策備品やオンライン配信サービスなど新たなニーズにも対応しました。また、主催事業については、「ラ・フォル・ジュルネTOKYO」は中止となったものの、代替となる「丸の内ミュージックフェス」や、「東京味わいフェスタ」、「J-CULTURE FEST」のほか、新たに参画した「大丸有SDGs ACT5」に関する様々な催事を開催し、地域や社会に貢献する弊社の使命を果たしました。

弊社を取り巻く環境はいまだ厳しい状況が続いていますが、2023年3月からはマスク着用の判断が個人の判断に委ねられるなど、行動制限が大幅に緩和されてきており（2023年5月からは新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となる）、徐々に平時に戻りつつあります。こうした中、弊社では、コロナ禍から立ち上がって前進し、一層の成長を目指すため、「第7次中期経営計画」を策定しました。改修工事に伴う断続的な休館があるなど制約がある中、社員一人ひとりがこれまでの考え方にとらわれず「挑戦」することで取組を進め、大丸有エリアの産業・文化の中心拠点として更なるプレゼンスを向上させ、今後の弊社の発展につなげてまいります。

今後とも、弊社の事業活動に対し、ご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

会社情報

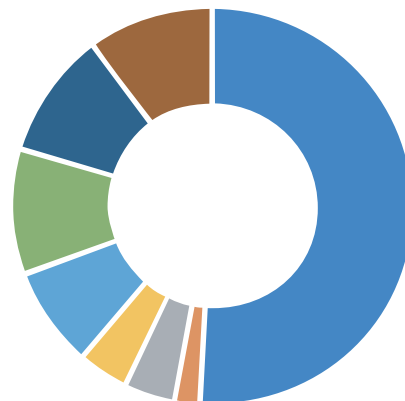
■会社概要 (2023年4月1日現在)

名称	株式会社東京国際フォーラム (英文名称: Tokyo International Forum Co., Ltd.)
所在地	東京都千代田区丸の内三丁目5番1号
設立年月日	2003年4月4日
主要事業	1 東京国際フォーラムのホール、会議室等の管理運営 2 東京国際フォーラムのサービス施設の管理運営 3 国際交流促進等のための催事の企画、制作、実施及びその受託 4 その他上記に付帯する一切の業務
代表者	代表取締役社長 中嶋 正宏
資本金	4億9000万円

■株式の状況

1	会社が発行する株式の総数	9,800株
2	発行済株式総数	9,800株
3	株主数	8名
4	株主	

■東京都	5,000株	51.0%
■東日本旅客鉄道株式会社	1,000株	10.2%
■三菱地所株式会社	1,000株	10.2%
■サントリーホールディングス株式会社	1,000株	10.2%
■株式会社電通グループ	800株	8.2%
■東京電力ホールディングス株式会社	400株	4.1%
■東日本電信電話株式会社	400株	4.1%
■東京ガス株式会社	200株	2.0%



■経営理念

東京国際フォーラム (Tokyo International Forum) は、リーディング・コンベンション&アートセンターとして、コミュニティ・東京・日本の魅力を高め、その魅力を世界に向けて発信する感動創造企業である。

■経営指針

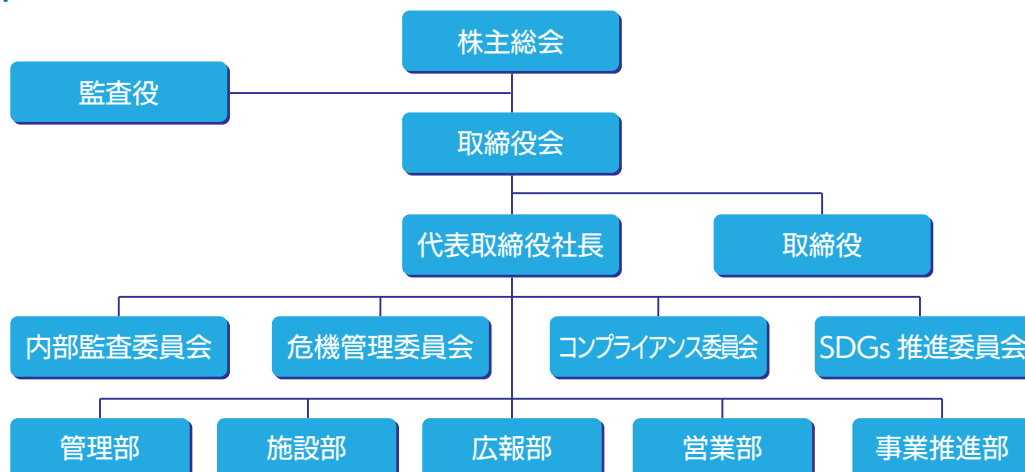
- ・ T I F は、最高の品質とサービスを提供する、リーディング・コンベンション&アートセンターである。
- ・ T I F は、東京と日本の「いま」がわかる、コンベンション&アートセンターのオンリー・ワン・ブランドを目指す。
- ・ T I F は、競争と協調の精神で、東京の顔である「大手町・丸の内・有楽町」地区の魅力あるまちづくりの核として、地域社会に貢献していく。
- ・ T I F は、東京の魅力、まちの賑わい、人々の感動に満ちた、情報発信の拠点である。
- ・ T I F は、自らの感性を高め、お客様の気持ちを敏感にとらえ、喜びと満足をお客様と分かち合う。
- ・ T I F は、透明性が高く、効率的で高収益、高付加価値を創造する経営を目指す。

■経営陣

代表取締役社長 中嶋 正宏 常務取締役 岡安 雅人 取締役 歌川 貴 監査役 中島 真介 監査役 谷 哲志

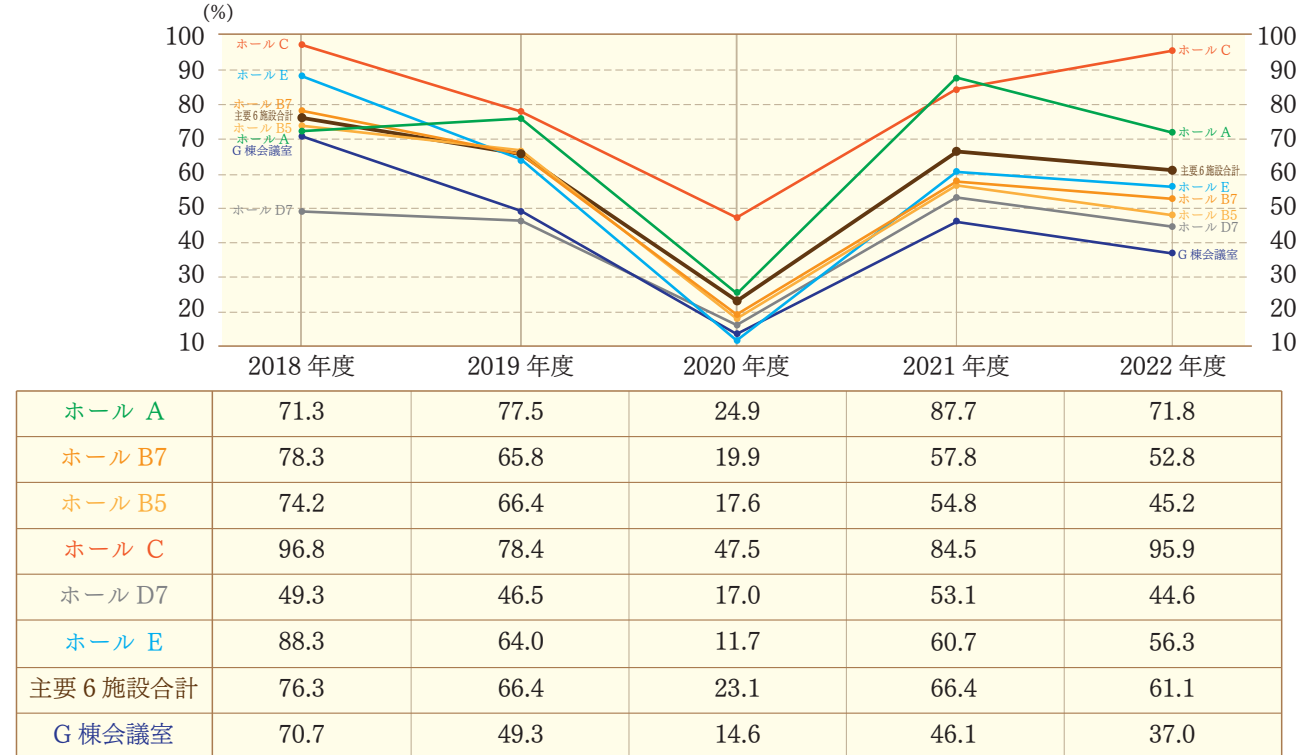
常勤従業員 55 人

■組織概略図



東京国際フォーラム施設稼働状況

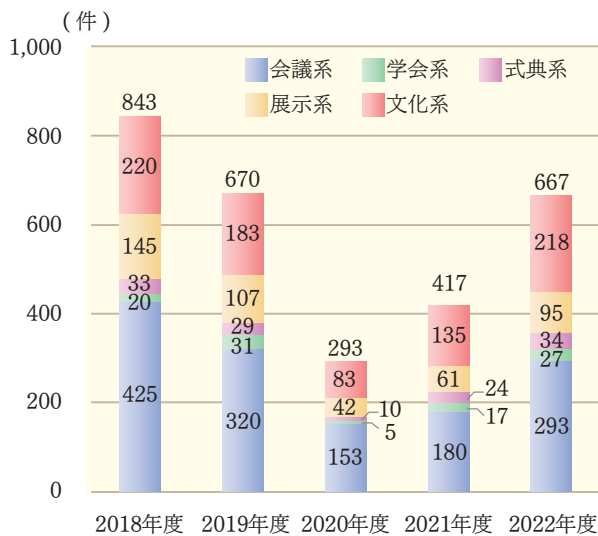
東京国際フォーラム施設稼働状況



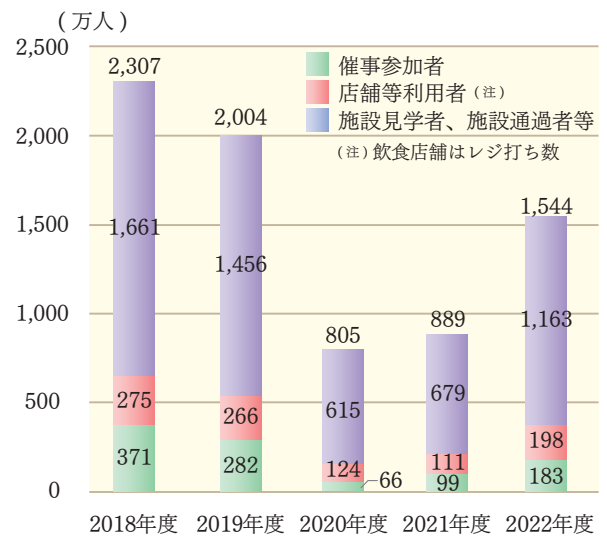
(注) 主要 6 施設：ホール A、B7、B5、C、D7、E G 棟会議室：G 棟 31 室

稼働率計算法：利用日数 ÷ (365 または 366 日 - 点検日数 < 年間 24 日 >) 大規模修繕等による販売不可能日は控除していません

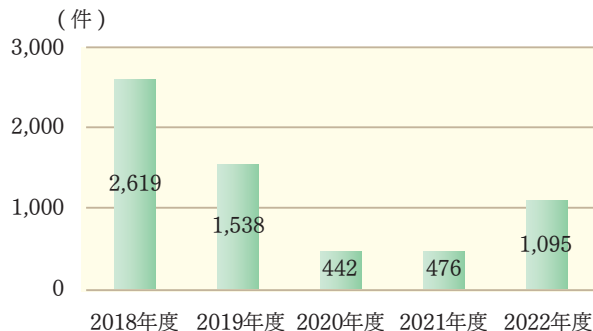
主要ホール利用種別催事件数の推移



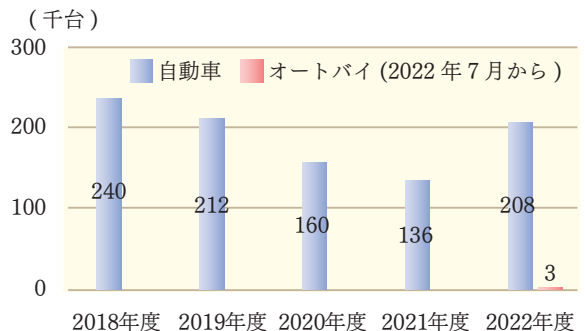
来館者延人数（推定値）の推移



会議室単独利用催事件数の推移



駐車場利用台数の推移



2022年度に開催された主な催事

区分	催事名	会期	会場
会議系	第55回原産年次大会	2022/ 4/ 12～13	B7,B5, 会
	株式会社ジーシー創業100周年記念 第5回国際歯科シンポジウム	2022/ 4/ 16～17	Aを除く全館
	ケーブルコンベンション2022	2022/ 7/ 28～29	B5,D5,D1
	大丸有のD&Iをかんがえるカイギ	2022/ 11/ 11	D1
	ヒューマンライツ・フェスタ東京2022	2022/ 11/ 19～20	D7,D5,D1,LG, 地
	第22回国際栄養学会議	2022/ 12/ 6～11	全館
	第7回サステナブル・ブランド国際会議2023 東京・丸の内	2023/ 2/ 14～15	B7,B5,D7,D5,E2,LG
	City-Tech. Tokyo	2023/ 2/ 27～28	B7,B5,D7,E,LG, 会
	第63回日本神経学会学術大会	2022/ 5/ 18～21	全館
	第47回日本超音波検査学会学術集会	2022/ 5/ 27～29	B7,B5,C,D5,E2, 会
学会系	日本ペインクリニック学会第56回学術集会	2022/ 7/ 7～9	B7,B5,E2, 会
	第71回日本アレルギー学会学術大会	2022/ 10/ 7～9	B7,B5,D7,D5,D1,E, 会
	第76回日本臨床眼科学会	2022/ 10/ 13～16	Aを除く全館
	AMWC Japan 2022	2022/ 11/ 5～6	B7,B5, 会
	第41回日本認知症学会学術集会 / 第37回日本老年精神医学会 [合同開催]	2022/ 11/ 25～27	B7,B5,C,E2, 会
	第46回日本眼科学術学会学術総会	2023/ 1/ 27～29	B7,B5,D7,D5,D1,E1, 会
	創立60周年記念式典及び第56回優良従業員表彰式	2022/ 6/ 20	C
	第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 (とうきょう総文2022)	2022/ 7/ 31	A
	日本商工会議所創立100周年記念式典	2022/ 9/ 16	A,B7,B5
	十文字中学・高等学校100周年記念発表会	2022/ 10/ 3	C
式典系	芝浦工業大学附属中学高等学校100周年記念行事	2022/ 11/ 30	C
	報道写真展「沖縄復帰50年 一定点観測者としての通信社」	2022/ 4/ 29～5/ 15	LG, 会
	プレミアムテキストスタイルジャパン2023 S/S	2022/ 5/ 25～26	E1
	ケーブル技術ショー2022	2022/ 7/ 28～29	E
	ものづくり・匠の技の祭典2022	2022/ 8/ 5～7	E,LG, 会
	PROJECT TOKYO 2022 August	2022/ 8/ 30～31	E1,LG
	ウッドテック フェア2022	2022/ 10/ 19～21	B7
	OBAYASHI Vision Showcase 2022「つくるを拓く」展	2022/ 10/ 19～21	E
	2022 東京インターナショナルオーディオショウ	2022/ 10/ 28～30	LG,D5,D1, 会
	東京味わいフェスタ2022	2022/ 10/ 28～30	地
展示系	FIT2022 (金融国際情報技術展)	2022/ 11/ 10～11	B7,B5,D7,D5,E,LG, 会
	SUPER BOX 2022	2022/ 11/ 16～18	E,D5, 会
	J-CULTURE FEST presents 体験・企画展示『正月に出会う 五節供の日本』	2022/ 12/ 29～2023/ 1/ 3	B5
	組合まつり in TOKYO 技と食の祭典!!	2023/ 1/ 18～19	E
	ライフ・ワーク・バランス EXPO 東京2023	2023/ 2/ 7	E1
	PROJECT TOKYO 2023 March	2023/ 3/ 15～16	E1,LG
	松任谷由実 コンサートツアー 深海の街	全6回	A
	乃木坂46 第2回5期生お見立て会	2022/ 4/ 27	A
	丸の内ミュージックフェス メインコンサート	2022/ 5/ 3～5	C
	TULIP 50周年記念ツアー “the TULIP”	2022/ 6/ 4～5	A
文化系	うたコン	全6回	A
	JUJU HALL TOUR 2022 不思議の国のジュジュ苑 -ユーミンをめぐる物語-	2022/ 7/ 8～9	A
	映画「TANG タング」 ジャパンプレミア	2022/ 7/ 14	C
	キエフ・バレエ・ガラ2022	2022/ 7/ 16～17	C
	イル・ヴォーロ イン コンサート2022	2022/ 8/ 8	A
	ミュージカル「キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン」	2022/ 8/ 11～9/ 4	C
	ハリウッド版 ラ・ラ・ランド ザ・ステージ 初来日公演	2022/ 8/ 18～21	A
	KAYAMA YUZO THE LAST SHOW 加山雄三ラストショー ～永遠の若大将～	2022/ 9/ 9	A
	YOSHIKI クラシカル with オーケストラ 2022 in JAPAN	2022/ 9/ 17～19	A
	大丸有SDGs映画祭	2022/ 9/ 22	D7
	Shall We コンサート	2022/ 10/ 5	D7
	『すずめの戸締まり』完成披露試写会	2022/ 10/ 25	A
	「今ここから、あなたのことが見える／見えない」	2022/ 11/ 23～25	D7
	氷川きよしスペシャルコンサート2022 ～きよしこの夜 Vol.22～	2022/ 12/ 13～14	A
	ブロードウェイミュージカル「シカゴ」	2022/ 12/ 14～31	C
	J-CULTURE FEST presents 詩楽劇『八雲立つ』	2022/ 12/ 30～2023/ 1/ 1	B7
	宝塚歌劇 宙組公演 真風涼帆リサイタル『MAKAZE IZM』	2023/ 1/ 9～19	C
	ブロードウェイ・ミュージカル『DREAMGIRLS - ドリームガールズ -』	2023/ 2/ 5～14	C
	ミュージカル『ジキル&ハイド』	2023/ 3/ 11～28	C

会場名称

A：ホールA、B7：ホールB7、B5：ホールB5、C：ホールC、D7：ホールD7、D5：ホールD5、D1：ホールD1、
会：会議室、E：ホールE (全面)、E1：ホールE1、E2：ホールE2、LG：ロビーギャラリー、GL：ラウンジ、地：地上広場

主催事業

東京国際フォーラムは、魅力あるまちづくりの核として、また、文化の創造と発信の拠点として、地域に賑わいをもたらし、都民や社会へ貢献する主催事業を積極的に展開しています。

丸の内ミュージックフェス



丸の内エリアで「丸の内ミュージックフェス」が、ゴールデンウィークに開催されました。

丸の内エリアでは、だれでも気軽に無料でクラシック音楽の魅力を味わっていただける「丸の内ミュージックフェス エリアコンサート」が、東京国際フォーラム ホールCでは「丸の内ミュージックフェス メインコンサート」と題し、国内で活躍するプロの演奏家たちによるクラシック音楽コンサートが開催されました。

会 期	エリアコンサート	2022 年 4 月 27 日～5 月 5 日
	メインコンサート	2022 年 5 月 3 日～5 月 5 日
主 催	三菱地所	
共 催	東京国際フォーラム	

ラ・フォル・ジュルネ TOKYO



2005 年度より毎年ゴールデンウィークの時期に、東京国際フォーラムを中心に大手町・丸の内・有楽町等のエリアで、クラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO (以下、LFJ)」を開催してまいりました。

2022 年は、国際的な音楽イベントを取り巻く未だ厳しい状況と、2 年に及ぶコロナ禍の影響を受け、LFJ の開催を見送ることにいたしました。

J - CULTURE FEST



日本文化に親しみ、新たな価値発見の機会をご提供することを目的に、開館 20 周年記念事業として 2016 年度にスタートした「J-CULTURE FEST / にっぽん・和心・初詣」は、多くの皆様からご好評をいただき、開館 20 周年のレガシーとして毎年お正月に開催してまいりました。

2022 年度は、来場者が公演を通じて神々に触れることでこの一年の穢れを祓い、新しい一年を寿ぐことをテーマに、色鮮やかな衣装と音楽を融合させた舞台公演と、平安時代の五節供を表現した体験・企画展示を実施しました。

● 詩楽劇「八雲立つ」



「J-CULTURE FEST presents 井筒装束シリーズ詩楽劇『八雲立つ』」は、古事記の国生み神話をテーマに、スサノオとイワナガヒメの魂の交わりを、歌舞伎、日本舞踊、バイオリン、和楽器、石見神楽など、多彩な手法で迫力満点に描きました。

会期・会場	2022 年 12 月 30 日～2023 年 1 月 1 日 ホール B7
出 演	尾上 右近／水 夏希／尾上 菊之丞／川井 郁子／吉井 盛悟／石見神楽 (MASUDA カグラボ)
主 催	株式会社井筒／株式会社東京国際フォーラム
企画・制作	株式会社井筒企画／株式会社井筒東京
来場者数	1,773 名

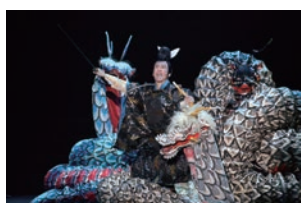
● 体験・企画展示「正月に出会う 五節供の日本」



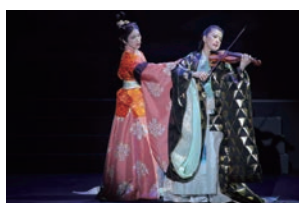
「J-CULTURE FEST presents 体験・企画展示『正月に出会う 五節供の日本』展」は、平安時代の五節供を表現した 360 度から見られる 1/4 スケールのジオラマや等身大の衣装展示を通じて五節供をご紹介します。

また平安時代の装束を試着できる体験プログラムに加え、五節供関連の和菓子の販売などで、連日多くのお客様にお楽しみいただきました。

会期・会場	2022 年 12 月 29 日～2023 年 1 月 3 日 ホール B5
主 催	株式会社井筒／株式会社東京国際フォーラム
企画・制作	株式会社井筒東京／株式会社井筒企画
来場者数	2,282 名



詩歌劇「八雲立つ」



体験・企画展示「正月に出会う 五節供の日本」



大丸有 SDGs ACT5 実行委員会のプログラム

当社は、企業活動を通じて様々な課題に取り組み、持続可能な開発目標の実現に寄与していくため、今年度から加盟した大丸有 SDGs ACT5 実行委員会のプログラムにも積極的に参画しました。

大丸有 SDGs 映画祭



東京国際フォーラムでは、「大丸有 SDGs 映画祭」のフィナーレを飾る作品として、2022 年のアカデミー賞 3 部門を受賞した話題作「コーダ あいのうた」を上映しました。高齢者や聴覚に障害のある人のために、セリフや音など耳から得る情報を字幕にして補足するバリアフリー字幕版にて上映し、ゲストに尾中友哉氏 (NPO 法人 Silent Voice 代表理事) らを招き、手話通訳付きのアフタートークも実施しました。

会 期 2022 年 8 月 30 日～9 月 22 日
上映作品 10 作品

東京国際フォーラム 2022 年 9 月 22 日 ホール D7「コーダ あいのうた」

大丸有の D&I をかंगाえるカイギ



「大丸有の D&I をかंगाえるカイギ」は、大丸有エリア (大手町・丸の内・有楽町) を起点に、「心のバリアフリーが溢れる街づくりの実現」(誰もが働きやすい街) を目指し、D&I (ダイバーシティ アンド インクルージョン) における、「知る」「共感」「巻き込む」をテーマにしたイベントです。

開 催 日 2022 年 11 月 11 日
会 場 ホール D1

Shall We コンサート



都内の特別支援学校に通う障害のある子どもたちを招待するコンサート

開催日 2022 年 10 月 5 日
会 場 ホール D7

舞台公演

「今ここから、あなたのことが見える／見えない」



大丸有のワーカー 11 人が出演するパフォーマンス作品

会 期 2022 年 11 月 23 日～25 日
会 場 ホール D7

衣類回収事業「Re;POST」



家で眠っている服を回収し、リユース・リサイクル

実施日 2022 年 9 月 16 日～11 月 30 日
設置場所 当社事務室内

東京都との共催事業

東京味わいフェスタ 2022 (TASTE OF TOKYO)



東京味わいフェスタは、丸の内・日比谷・有楽町・豊洲の各エリアにおいて、新鮮で高品質な東京産食材を使った料理を味わい、体験することで「農」や「食」の多彩な魅力を発見し、その魅力を国内外に発信するイベントです。4 年ぶりの開催となった 2022 年、東京国際フォーラムの地上広場が会場となった有楽町エリアでは、“バラエティ・オブ・ニッポン”をテーマに、キッチンカーや館内の一部店舗で販売された東京産食材を使ったメニューや日本各地の地酒など、日本各地の様々な味わいをお楽しみいただきました。

会 期 2022 年 10 月 28 日～10 月 30 日
時 間 11:00 ～ 20:00

地域協力の取組

OPEN CITY MARUNOUCHI (オープンシティ丸の内)



「OPEN CITY MARUNOUCHI」は、日本有数のオフィス街である大手町・丸の内・有楽町地区の知られざる魅力を発見するまち歩きツアーイベントです。普段は立ち入れない場所に足を踏み入れ、ここでしか聞けない歴史の舞台裏を学び、最新のサステナブルなビジネスマインドにも触れることができる、32 のプログラムが用意されました。

東京国際フォーラムでは、写真家の大杉隼平氏と一緒に「あなただけの一枚」を撮る、フォトツアーを実施しました。撮影された写真は、大杉さんがひとり 1 点ずつセレクトし、後日東京国際フォーラム公式ウェブサイトにて写真ギャラリーとして掲載しました。

実施日 2022 年 10 月 7 日、10 月 8 日
写真ギャラリー <https://www.t-i-forum.co.jp/about/building/>

都心型MICEの取組

東京国際フォーラムは日本有数のコンベンション&アートセンターとして、日本・東京のMICE誘致と開催の中核的役割を担っています。

東京国際フォーラムが位置する丸の内は、日本のビジネスの中心であり、近年は文化・観光エリアとしての魅力も高まっています。東京国際フォーラムは、その北側にある東京駅と、南側にあるJR有楽町駅・東京メトロ有楽町駅との間を地下通路で直結されています。鉄道だけでなく羽田空港からは約30分、成田空港からは約1時間と、空路によるアクセスも大変良好です。また、東京国際フォーラム周辺には、国際的なラグジュアリーホテルからリーズナブルなビジネスホテルまで、数多くの宿泊施設があります。

緑豊かな皇居外苑、ショッピングエリアとして世界的にも名高い銀座、日比谷の劇場街なども徒歩圏内にあり、東京国際フォーラムのある場所は、まさに東京の魅力が凝縮された最高の場所です。

ビジネス・観光・商業施設・宿泊などの様々な施設・役割が集積されたエリア全体の機能と、東京国際フォーラムのコンベンション&アートセンターとしての高い機能とを連携させることにより、高付加価値のMICE環境をエリア全体で提供する「都心型MICE」の中核として、弊社は東京都や地域と連携しながら国際規模のMICE誘致・開催に取り組んでいます。

※MICE(マイス)とは…企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称です。

第46回全国高等学校総合文化祭 (とうきょう総文2022)



全国高等学校総合文化祭は、高校生の創造活動の向上と相互の理解を深めることを目的として、芸術文化活動の発表を行う高校生の文化の祭典です。東京国際フォーラムは総合開会式の会場となり、第1部「式典」にはじまり、第2部は海外や次年度開催地の高校生も出演する「交歓会」、第3部では高校生キャストによるオリジナルミュージカルを上演する「開催地発表」が行われました。ボランティアマインド、障害者理解、豊かな国際感覚など、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを継承・発展させ、共生社会を実現していくことが表現されました。

会 期 2022年7月31日(とうきょう総文は7月31日～8月4日)
会 場 ホールA
来場者数 2,750名

第22回 国際栄養学会議



国際栄養学会議は、世界の全ての地域社会の発展、人々の生活の質の向上、栄養と食品に関する諸課題の解決、そして健康福祉への貢献を目的とし、国際栄養科学連合(International Union of Nutritional Sciences, IUNS)により4年に一度開催される国際会議です。日本では、1975年に京都市で開催された第10回について、47年ぶり、2回目の開催となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当初予定の2021年9月から、2022年12月に延期開催となりましたが、会期中は世界中から約3,800名の栄養科学と食糧科学の専門家が集い、活発な議論が展開されました。

会 期 2022年12月6日～12月11日
会 場 ホールA、C、B7、B5、D7、D5、D1、E、会議室、ロビーギャラリー
来場者数 3,734名(オンライン参加者含む)

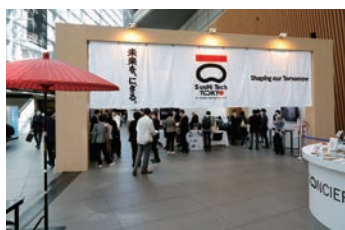
第7回サステナブル・ブランド国際会議 2023 東京・丸の内



「サステナブル・ブランド国際会議」は、国内外の企業・団体・自治体等のサステナビリティに関する最新の取組みや潮流を知り、各業界の第一線で活躍するイノベーターとネットワーキングができるアジア最大規模のコミュニティ・カンファレンスです。7回目・4年ぶりの東京開催となった今回は、主要会場(東京国際フォーラム)のみに留まらず、丸の内のビジネスコミュニティとの相互接続を図り、エリア型コミュニティ・カンファレンスへの挑戦を通じて、更なるコミュニティの拡大と深化に挑戦しました。

会 期 2023年2月14日～2月15日
会 場 ホールB7、B5、D7、D5、E2、ロビーギャラリー
来場者数 5,312名(オンライン参加者含む)

City-Tech. Tokyo



「City-Tech. Tokyo」は、スタートアップとのオープンイノベーションで持続可能な社会を実現するための、日本最大級の国際スタートアップイベントとして、初開催されました。

都市課題を乗り越え、新たな都市像を創り出すための多彩なアイデアやテクノロジーについての基調講演・セッション、展示、商談会が展開され、国内外から約27,000人が参加されました。

会 期 2023年2月27日～2月28日
会 場 ホールB7、B5、D7、E、ロビーギャラリー、会議室
来場者数 26,764名(オンライン参加者含む)

▶「大丸有 SDGs ACT5 実行委員会」に加盟



当社は 2022 年度から、三菱地所株式会社、農林中央金庫、株式会社日本経済新聞社、株式会社日経 BP 等で構成される「大丸有 SDGs ACT5 実行委員会」に加盟しました。これは、経営理念として「リーディング・コンベンション&アートセンターとして、コミュニティ・東京・日本の魅力を高め、その魅力を世界に向けて発信する感動創造企業である」と掲げる当社が、大丸有 SDGs ACT5 の活動に共感したことによるものです。

＜大丸有 SDGs ACT5 実行委員会とは＞

大丸有エリアに拠点を置く企業が集まり、SDGs 目標期限 2030 年の 10 年前にあたる 2020 年 5 月に発足しました。大丸有エリアを起点として、企業が主体となって取り組むことで、企業間連携による SDGs 活動の相乗効果を検証し、SDGs モデル都市の構築を目指す「大丸有 SDGs ACT5」を推進する組織です。

2022 年は「サステナブルフード」「環境」「WELL-BEING」「ダイバーシティ&インクルージョン」「コミュニケーション」の 5 つの ACT（テーマ）を設定し、各アクションの実践、効果の検証、社会課題の構造的な問題を明らかにすることをミッションとしています。

大丸有 SDGs ACT5 公式サイト：<https://act-5.jp>

▶大丸有キラピカ作戦に参加（2022 年 5 月、11 月）



大丸有のオフィスワーカーが東京駅前とその周辺を清掃する「大丸有キラピカ作戦」は、2001 年にスタートし、今回が 21 回目の開催となります。

2 年ぶりに開催された今年は、5 月 25 日と 11 月 17 日、いずれも 400 名を超す参加者が集まり、それぞれ分担した区画の清掃に汗を流しました。

▶オートバイ駐車場設置（2022 年 7 月）



地下 3 階駐車場においてオートバイ駐車場の運用を新たに開始しました。

営業日・時間：年中無休 7:00～23:30

駐車可能な車両：自動二輪車等（駐車区画：幅 1m×長さ 2.5m）

※自転車は駐車できません。

駐 車 台 数：10 台

駐 車 料 金：100 円／1 時間（税込）1 時間未満は 1 時間に切上げ
5 時間超～10 時間まで（12/31、1/1～3 を除く平日）500 円
10 時間を超えた時間は、1 時間ごとに 100 円

▶新店舗「クリスピー・クリーム・ドーナツ」開店（2022 年 8 月）



ドーナツ製造の様子をご覧いただける“ドーナツシアター”を設えた、国内最大のフラッグシップショップとなる「クリスピー・クリーム・ドーナツ 東京国際フォーラム店」が B ブロック 1 階地上広場側にオープンしました。

▶東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 記念銘板の設置（2023 年 1 月）



東京国際フォーラムは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会において、オリンピック ウェイトリフティング、パラリンピック パワーリフティングの競技開場として使用されました。

多くの国と地域から参加した多数の選手により熱戦が繰り広げられたことをレガシーとして永く伝えていくため、ガラス棟東京駅側外構部に記念銘板を設置しました。

SDGsへの取組 ～集いを喜びに～

当社は、東京国際フォーラムにおけるSDGs (Sustainable Development Goals) に係る取組の検討及び推進を図るため、取締役を委員長とするSDGs推進委員会を設置しました。

東京国際フォーラムのSDGs

東京国際フォーラムは、経営理念に掲げる「リーディング・コンベンション&アートセンターとして、コミュニティ・東京・日本の魅力を高め、その魅力を世界に向けて発信する感動創造企業」を実践するために、社員一人一人が「感動への第一歩」と名付けた社員行動指針に基づいて企業活動に取り組んでいます。

わたしたちは、まちづくりの核となり、社会に積極的に貢献することが求められる公共性の高い企業として、「環境」、「地域貢献」、「安全安心」、「ガバナンス」の4分野をSDGsの重点課題とし、持続可能な社会の実現に向けて挑戦を続けてまいります。

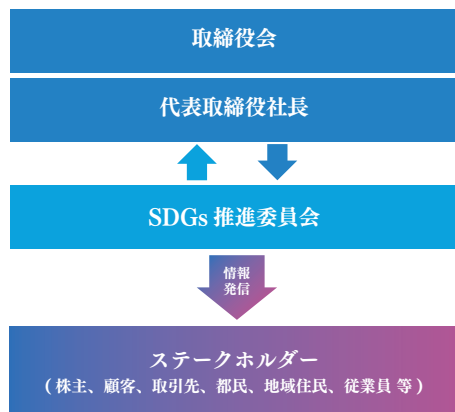
経営理念とSDGs

東京国際フォーラムは、経営理念「感動創造企業」の実践を通じて企業価値の向上を目指しながら、持続可能な開発目標の世界的な取り組みである「SDGs」に貢献し、社会的な課題の解決を図っていきます。



推進体制

「SDGs推進委員会」を中心に、取締役会と連携し、サステナビリティ・ビジョンに基づいた計画の策定や各案件の進捗共有などのモニタリング、課題や問題点の検証を行います。

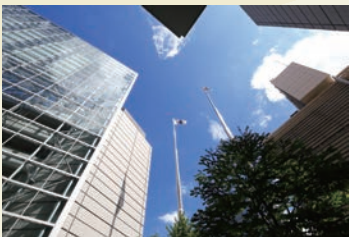


SDGs推進委員会のマネジメントサイクル



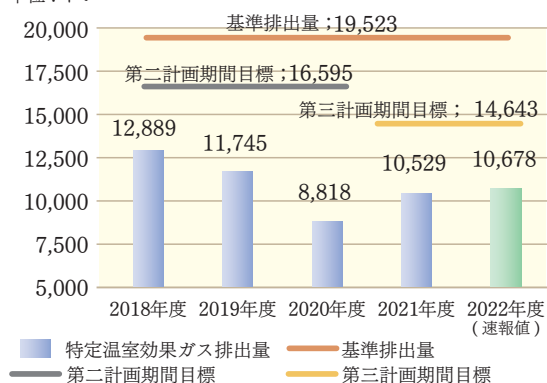
4つの重点分野の取り組みについて

東京国際フォーラムは、「環境」「地域貢献」「安全安心」「ガバナンス」の視点から企業活動を通じて主要課題に取り組むことで、SDGs達成に貢献していきます。

環境 	脱炭素・循環型社会を目指して ☑ 東京水 まちなか水飲栓の設置 ☑ 太陽熱集熱システム ☑ 太陽光発電システム ☑ 照明・空調設備などの省エネルギー化 ☑ エネルギー管理システム ☑ 生ゴミリサイクル	
地域貢献 	互いに高めあい、共に成長する、パートナーを目指して ☑ 主催・共催事業の開催 ☑ 大丸有SDGs ACT5への加盟 ☑ 千代田区における各種社会活動への積極的な参加 ☑ 外国人観光案内窓口	
安全安心 	持続可能な社会づくりに貢献できる企業を目指して ☑ バリアフリー設備の充実化 ☑ TOKYO 2020アクセシビリティガイドラインへの対応 ☑ 一時滞在施設としての帰宅困難者受入環境整備 ☑ 自衛消防隊の組織と定期的な訓練の実施 ☑ 浸水(ゲリラ豪雨)対策の推進	
ガバナンス 	働く喜びを感じられる職場づくりを目指して ☑ コンプライアンス憲章等の制定と遵守 ☑ 多様で柔軟な働き方に向けた制度の導入 ☑ 健康に配慮した就業環境の確保 ☑ ダイバーシティ・多様性の確保	

温室効果ガス排出量削減の取組

単位：トン



東京都環境確保条例は、温室効果ガス排出量削減義務を事業者課しています。2020～24年度の第三計画期間では、基準排出量※から25%削減しなくてはなりません。

東京国際フォーラムでは、空調・照明設備を省エネ型設備に更新するハード面と、運転スケジュール管理の徹底などソフト面との両面から環境対策を積極的に実施し、削減義務以上の削減を達成してまいりました。

2022年度の温室効果ガス排出量は、目標値の72.9%に相当する10,678t(速報値)でした。排出量は、2021年度より増加しましたが、第三計画期間の目標値に対し低水準で推移しており、削減の取組が奏功していることを示しています。

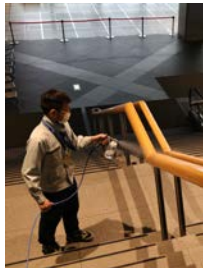
※基準排出量：2005年～2007年度のTIFでの温室効果ガス年間排出量の平均値を、第二計画期間中の温室効果ガス年間排出係数によって再計算した数値

安全・安心のための取組

東京国際フォーラムは、「安全・安心は最大のサービス」という認識のもとに企業活動を実施しています。

● 新型コロナウイルス感染症対策

東京国際フォーラムは、お客様とスタッフの健康と安全確保を第一に、東京都をはじめ関係機関と連携を図りながら、主催者、関係者、並びにご来館の皆様の協力のもと、徹底した新型コロナウイルス対策を実施してきました。

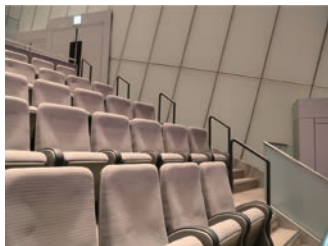


- (1) 東京国際フォーラムの取組
施設の消毒、除菌
施設・貸出備品への抗ウイルス・抗菌処理
感染症対策貸出備品のご用意
「東京版新型コロナウイルス見守りサービス」QRコードの館内掲示
- (2) 主催者への協力要請
国・東京都・業界団体の指針等に沿ったイベントの企画及び実施
イベント参加者への新型コロナウイルス拡散防止対策に関する積極的な働きかけ

● TOKYO 2020 アクセシビリティガイドラインへの対応

ホールA、Cの客席通路に転倒防止用の手すりを設置しています。

また、館内全てのバリアフリートイレを更新し、一部にはオストメイト対応設備やユニバーサルベンチ（介護用ベッド）を設置しています。防災設備の設置場所には、外国語やピクトグラムを併記するなど、ユニバーサルデザイン化にも取り組んでいます。



ホールAの手すり



ホールCの手すり



防災設備のピクトグラム



ユニバーサルベンチ 収納時



ユニバーサルベンチ 使用時



オストメイト

● 各種訓練の実施

社員、常駐協力会社、テナント勤務者で編成するオールTIFの自衛消防隊を組織し、警察・消防等の関係機関と連携・協力して、定期的に各種の訓練を重ね、対応能力の向上を図っています。



(1) 自衛消防訓練（競技会参加）



(2) 自衛消防訓練（総合消防訓練）



(3) 一時滞在施設開設訓練
「災害時特設公衆電話」設置訓練



(4) テロ対策訓練



(5) 震災総合訓練



(6) 水防訓練（止水板設置訓練）

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	4,641,116	流動負債	3,989,462
現金及び預金	4,191,719	買掛金	2,225,683
売掛金	362,959	リース債務	31,622
貯蔵品	34,502	未払金	745,483
前払費用	9,582	未払費用	9,613
立替金	36,199	未払法人税等	15,547
未収入金	5,115	未払事業所税	56,540
その他	1,037	未払消費税等	22,098
		契約負債	839,120
		預り金	12,122
		賞与引当金	31,629
固定資産	1,633,476	固定負債	740,002
有形固定資産	871,906	リース債務	37,185
建物	630,529	退職給付引当金	264,852
構築物	33,384	長期預り保証金	437,964
車両運搬具	2,918		
器具及び備品	141,269	負債合計	4,729,464
リース資産	63,805		
無形固定資産	43,125	(純資産の部)	
ソフトウェア	41,219	株主資本	1,545,128
電話加入権	1,905	資本金	490,000
投資その他の資産	718,444	利益剰余金	1,055,128
投資有価証券	700,000	利益準備金	27,930
長期前払費用	18,374	その他利益剰余金	1,027,198
その他	70	繰越利益剰余金	1,027,198
資産合計	6,274,592	純資産合計	1,545,128
		負債及び純資産合計	6,274,592

損益計算書

(2022年4月 1日から
2023年3月 31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		5,196,899
売上原価		4,205,902
売上総利益		990,996
販売費及び一般管理費		1,197,396
営業損失		206,399
営業外収益		
受取利息	1,444	
雑収入	36,747	38,192
営業外費用		
支払利息		1,031
経常損失		169,238
特別利益		
固定資産受贈益		11,926
特別損失		
固定資産除却損		2,353
税引前当期純損失		159,664
法人税、住民税及び事業税		530
当期純損失		160,194

施設概要

(2023 年 4 月 1 日現在)

名 称	東京国際フォーラム（英文名称：Tokyo International Forum）	
所 在 地	東京都千代田区丸の内三丁目 5 番 1 号	
敷 地 面 積	約 27,000 m ²	
延 床 面 積	約 145,000 m ²	
開 館 年 月 日	1997 年 1 月 10 日	
所 有 者	東京都	
運営管理団体	株式会社東京国際フォーラム	
設 計 者	ラファエル・ヴィニオリ（Rafael Viñoly）＜国際設計競技当選者・米国＞	
ホ ー ル 等	ホール A	劇場形式／座席数：5,012 席（二層式：1 階席 3,025、2 階席 1,987）
	ホール B 7	平土間形式／床面積：1,400 m ² （2 分割可：670 m ² ／ 670 m ² ）
	ホール B 5	平土間形式／床面積：600 m ² （2 分割可：280 m ² ／ 300 m ² ）
	ホール C	劇場形式／座席数：1,502 席（三層式：1 階席 739、2 階席 363、3 階席 400）
	ホール D 7	平土間形式／床面積：340 m ² （引き出し式収納席 100 席／ 180 席）
	ホール D 5	平土間形式／床面積：285 m ²
	ホール D 1	平土間形式／床面積：137 m ²
	ホール E	床面積：5,000 m ² （2 分割可：3,000 m ² ／ 2,000 m ² ）
	会議室	D ブロック会議室（4・5 階）：3 室 ガラス棟会議室（4～7 階）：31 室（4～6 階各階 10 室、7 階 1 室）
	その他	ロビーギャラリー：800 m ² ラウンジ：224 m ²
ガ ラ ス 棟	規模	面積：約 4,000 m ² （長さ：約 207m 最大幅：約 32m 高さ：約 60m）
	ガラス枚数	約 3,600 枚（西側：約 1,800 枚 屋根：約 1,000 枚 東側：約 800 枚）
	ガラス大きさ	壁面：2.6m×2.5m 屋根：1.7m×1.9m
地 上 広 場	規模	面積：約 9,700 m ²
	植栽等	植栽：樺 42 本、桂 15 本 アートワーク：3 作品
	その他	貸出スペース：A／約 880 m ² B／約 670 m ² C／約 380 m ² D／約 160 m ²
駐 車 場	利用時間等	地下 3 階／7:00～23:30（年中無休）
	収容台数	四輪車／417 台（うち身障者専用 7 台）、オートバイ／10 台
	利用料金	四輪車／30 分 200 円、オートバイ／60 分 100 円
店 舗 等	カフェ・レストラン	11 店舗（地下 1 階：5 店舗 1 階：5 店舗 7 階：1 店舗）
	ショップ	3 店舗（アートショップ、ライフスタイルストア、コンビニエンスストア）
	サービス	1 店舗（リラクゼーション）
	美術館	「相田みつを美術館」／地下 1 階
アートワーク	「赤と黒」（エルズワース・ケリー）など 134 点（作家 50 名）	



ガラス棟夜景



東京国際フォーラム外観



ガラス棟



ホール A



ホール C



ホール D7

基本構想から開館まで

1980年	12月3日	「マイタウン構想懇談会コミュニティ部会」でシティ・ホールの建設を提言
1985年	8月22日	「東京都シティ・ホール建設計画基本構想」を発表
1986年	1月24日	「東京都東京国際フォーラム建設等審議会発足」（1987年12月24日最終答申）
1989年	11月2日	国際公開設計競技の審査の結果、ラファエル・ヴィニオリ氏（米）が最優秀賞
1992年	10月9日	建築工事着工
1994年	9月1日	財団法人東京国際交流財団 設立
	12月1日	東京国際フォーラム 施設利用申込の受付開始
1996年	5月31日	東京国際フォーラム 建物竣工
	7月1日	財団法人東京国際交流財団、東京都から東京国際フォーラムの貸付を受ける
1997年	1月10日	東京国際フォーラム 開館

財団法人東京国際交流財団から株式会社東京国際フォーラムへ

1997年	1月10日～3月29日	東京国際フォーラム開館記念“東京ときめきフェスタ”実施
	3月1日	ホール・会議室等一般利用開始
2000年	12月24日～1月1日	“フォーラム・ミレナリオクラブ”実施（以降2005年末まで毎年実施）
2001年	10月1日	地上広場の一般利用開始
	12月21日	東京国際フォーラム 株式会社化の発表
2002年	8月	東京国際フォーラム開館5周年記念事業の実施（“トーキョーアートジャングル”他）
2003年	4月4日	株式会社東京国際フォーラムの設立
	7月1日	財団法人東京国際交流財団から株式会社東京国際フォーラムへの事業譲渡

株式会社東京国際フォーラム

2003年	7月1日	株式会社東京国際フォーラム本格稼働、館内サインの一新、ホール等の施設名称の一部変更
	7月	地上広場に「ネオ屋台村」登場（以降平日の毎日）
	10月	地上広場に「大江戸骨董市」登場（～05年9月：毎月1回、05年10月～：毎月2回）
	11月1日	「相田みつを美術館」オープン
2004年	6月	地上広場に照明灯（ライティングポール／光柱）設置
	7月	ネオ屋台村スーパーナイト第1回開催
2005年	3月	総合案内所リニューアル、ロビーギャラリー照明灯（ライティングポール／光柱）設置
	4月24日～5月1日	第1回ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭（後にラ・フォル・ジュルネTOKYO）の実施（2019年まで毎年ゴールデンウィークに実施）
2006年	4月	ホールE用エレベーター設置、東京駅連絡口エスカレーター設置
	12月8日～1月15日	年末イベント“HARMONIA”実施（2007・2008年末にも実施）
2007年	通年	開館10周年記念事業の実施（8月“丸の内KIDSフェスタ”等）※丸の内KIDSフェスタ（2012年から「丸の内KIDSジャンボリー」に名称変更）は2019年まで毎年8月中旬に実施
	6月1日	会議室G701（4月末竣工）の一般貸出開始
2008年	8月	東京国際フォーラム環境方針の決定
2009年	4月～	中期修繕10ヶ年計画に基づく大規模改修工事の開始
	12月	年末イベント“ストラスブールのマルシェ・ド・ノエル”の実施（2010年にも実施）
2011年	3月11日	東日本大震災発生 東京国際フォーラムは帰宅困難者の受入を実施
	3月31日	ホールD1リニューアルオープン（固定座席のシアター形式から平土間形式に）
2012年	通年	開館15周年記念事業の実施（5月“マイケル・サンデル特別講義”、8月“丸の内KIDSジャンボリー”等）
	5月	授乳室の開設
2014年	12月	年末イベント「TOKYO stylish NIGHT “REFLECTION 2014/2015”」の実施
2015年	6月	館内双方向型デジタルサイネージ導入
2016年	7月	「月曜シネサロン&トーク」の実施（2022年3月まで）
	8月	ガラス棟地下1階ロビーギャラリー拡張（6月 ガラス棟地下1階総合案内所機能の移転）
2017年	1月～12月	開館20周年記念アニバーサリーイヤー
	3月	ガラス棟1階案内所リニューアル
2018年	4月～	中期修繕10ヶ年計画に基づく大規模改修工事の終了
	3月	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の1年延期が決定
2020年	4月～5月	緊急事態宣言により全館休館
	5月	ガラス棟を青色でライトアップ「#lightitblue」を実施
2021年	7月～9月	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のウェイトリフティング及びパワーリフティングの競技が開催
2022年	7月	オートバイ駐車場を設置
2023年	1月	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 記念銘板の設置



TOKYO INTERNATIONAL FORUM
東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番地 1 号

TEL : 03-5221-9000 (代)

<http://www.t-i-forum.co.jp>

2023 年 7 月 発行

